

I 事業の状況

I. 公益事業

1. 学術講演会の開催

第 110 回日本精神神経学会学術総会を、宮岡等会長、竹内知夫副会長、齋藤庸男副会長のもとに、平成 26 年 6 月 26 日～28 日の 3 日間開催した。神奈川県横浜市のパシフィコ横浜に於いて「世界を変える精神医学-地域連携からはじまる国際化-」をテーマとし、特別講演 10 題、会長講演、先達に聴く 9 題、教育講演 24 題、緊急教育講演、特別シンポジウム 2 題、総会テーマ関連シンポジウム 4 題、会長企画シンポジウム 4 題、委員会シンポジウム 19 題、シンポジウム 74 題、International Symposium 4 題、ワークショップ 22 題、市民公開講座 2 題の学術講演会を行い、一般演題（口頭・ポスター含む）374 題とあわせて活発な発表・討論がなされた。参加者数は延べ 8000 人を超え、盛会のうちに終了した。

また、大会最終日に一般演題の中から特にすぐれた演題発表者 4 名を表彰した。

II. 機関誌刊行物事業

(1) 精神神経学雑誌（和文誌）の刊行

・第 116 巻第 4 号より第 117 巻第 3 号まで月刊で 12 号分、延べ 1,320 ページを刊行した。

（発行部数：第 116 巻第 4 号～12 号 約 16,000 部、第 117 巻第 1 号～3 号 約 7,000 部）

・和文誌のアーカイブ化を開始し、オンラインジャーナルに掲載した。（2015 年 3 月末時点で第 112 巻まで掲載）

(2) Psychiatry and Clinical Neurosciences（英文誌）の刊行

・第 68 巻 第 4 号～第 12 号、第 69 巻 第 1 号～第 3 号までの 12 号分、計 785 ページを刊行した。

（冊子体発行部数：各号 約 400 部、冊子体については 2 号分を 1 冊とし、計 6 冊発行）

(3) 上記 2 誌の定期刊行物の他、

「臨床医のための小児精神医療入門」（日本精神神経学会小児精神医療委員会 監修）を医学書院より出版した。

III. 委員会活動事業

(1) 下記各種委員会を設置し、所管の事項の審議およびそれにもとづいた研究・調査等の活動を行った。

本学会基本理念のもと、精神医学・医療・保健・福祉の質的向上に貢献することを委員会活動の基本に置き、学術研究のみならず臨床に関する現実的な課題についても取り組んだ。委員会活動は以下の 6 部門から構成され、幅広く活動を実施した。活動内容の詳細については、別紙・平成 26 年度委員会活動報告を参照いただきたい。

ー 平成 27 年 3 月時点での各部門に属する委員会（計 48 委員会）

■ 学術・教育部門

1. 精神科用語検討委員会/精神科病名検討連絡会
2. 精神神経学雑誌編集委員会
3. PCN 編集委員会
4. 精神医学奨励賞・精神医療奨励賞選考委員会
5. フォリア賞選考委員会
6. 学術総会企画委員会
7. WPA Regional 大会準備委員会
8. 精神医療・精神医学情報センター運営委員会
9. ICD-11 委員会
10. 精神療法委員会
11. 小児精神医療委員会
12. 司法精神医学委員会
13. 精神医学研究推進委員会

■ 専門医制度部門

1. 専門医制度常任委員会
2. 専門医制度卒後研修委員会
3. 専門医制度試験委員会
4. 専門医制度資格・研修施設認定委員会
5. 専門医制度生涯教育委員会
6. 専門医制度整備委員会
7. サマースクール実行委員会
8. 精神科薬物療法研修特別委員会

■ 精神保健・医療・福祉部門

1. 精神医療・保健福祉システム委員会
2. 精神保健福祉法特別委員会
3. 精神保健に関する委員会
4. 医療経済委員会
5. 精神科医・精神科医療の実態把握・将来計画に関する委員会
6. 心理技術職の国家資格化に関する委員会
7. アンチスティグマ委員会
8. ECT・rTMS等検討委員会
9. 多職種協働委員会
10. 性同一性障害に関する委員会
11. 薬事委員会/向精神薬の副作用診断・治療マニュアルタスクフォース班
12. 災害支援委員会/災害支援連絡会

■ 法・倫理部門

1. 法委員会
2. 医療倫理委員会
3. 倫理委員会

■ 広報・国際部門

1. 国際委員会
2. 広報委員会
3. 出版委員会

■ 庶務部門

1. 学会諸規則委員会
2. 情報システム委員会
3. 財務・特定資産検討委員会
4. 代議員総会議事運営委員会
5. 利益相反委員会
6. 情報管理委員会
7. 代議員選挙管理委員会
8. 男女共同参画推進委員会
9. 各種委員会活動評価委員会

IV. 精神医学・精神医療奨励賞事業及びフォリア賞事業

1) . 精神医学・精神医療奨励賞事業

・精神医学奨励賞

受賞者 : 青木 悠太

・精神医療奨励賞

受賞者 : NPO 法人 日本若手精神科医の会
(代表会員 : 久我 弘典)

2) . フォリア賞事業

受賞者 : 大岡 治恵・他

受賞対象論文 : Effects of maternal depressive symptomatology during pregnancy and the postpartum period on infant-mother attachment

V. 国際交流事業

世界精神医学会 (WPA)、その他精神科関連の国際学会との国際学術交流をはかった。

具体的には、以下のような活動を実施した。

- ・年次学術総会において、英語での演題発表ならびに海外からの参加者の受付を行った。英語の一般演題公募に対して 112 件の応募があった。
- ・海外若手精神科医を 110 回学術総会に招聘し、以下のシンポジウムの企画・実施、ならびに「JSPN Fellowship Award」を授与した。

<第110回学術総会 International Symposium>

- International Discussion of Global Trends from Hospital-based to Community-based Care
- International Discussion of Policies and Projects for Reforms of Mental Health Services
- International Case Discussion of Dementia (I) • International Case Discussion of Dementia (II)

<JSPN Fellowship Award 2014 受賞者一覧>

Eugenia Sinita (Republic of Moldova)
Philip Jonathan Anderson (Northern Ireland, United Kingdom)
Nataliya Zhabenko (Ukraine)
Nan Tin Moe Khine (Republic of The Union of Myanmar)
Muhammad Zillur Rahman Khan (Bangladesh)
Kfir Feffer (Israel)
Swantje Notzon (Germany)
Visnja Banjac (Bosnia and Herzegovina)
Giovanni Martinotti (Italy)
Shiau-Shian Huang (Taiwan, ROC)
Papan Thaipisuttikul (Thailand)
Anuradha Ellepolala (Sri Lanka)

- 国際学会にて口頭発表を行った日本の若手会員に、「国際学会発表賞」を授与した。
 - 個人発表部門
 - 沼田 周助 (徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部精神医学分野)
 - 岩田 正明 (鳥取大学 医学部脳神経化学講座精神行動医学分野)
 - 野田 賀大 (Centre for Addiction and Mental Health, Department of Psychiatry, University of Toronto)
 - 西田 圭一郎 (関西医科大学 精神神経科学教室)
 - 安藤 俊太郎 (公益財団法人 東京都医学総合研究所)
 - シンポジウム組織部門
 - 内田 裕之 (慶應義塾大学 医学部精神・神経科学教室)
 - 岸本 泰士郎 (慶應義塾大学 精神・神経科学教室)
- Royal Australia New Zealand College of Psychiatrists 大会に会員2名を派遣した。
- WPA 関連学会に、本学会の活動ならびに WPA Regional Congress Osaka 2015 を紹介するパンフレット・ポスターを送付した
- 2015年3月4日にアジア精神医学会と第5回アジア精神医学世界大会を共催し、大会中に「JSPN-AFPA Round Table Discussion」を企画・実施した。概要は下記のとおりである。

<概要>

 - アジア・オセアニア23カ国各国の精神医学会代表者、WPA Presidentをはじめとする世界各地の精神医学会の代表者と本学会の理事長含む理事等が一同に会し、アジア・オセアニア地域における精神医学の連携強化をテーマにディスカッションをおこなった。

- ・WPA 関連学会に、本学会の活動ならびに WPA Regional Congress Osaka 2015 を紹介するパンフレット・ポスターを送付した

VI. 専門医認定事業

- 精神科専門医を目指す研修医からの研修手帳購入受付および研修開始申請書の受付を行った。
- 生涯学習活動の推進のための「生涯教育研修会」を平成 26 年 6 月 29 日に実施した。
- 精神科専門医制度指導医を対象とした「指導医講習会」を、平成 26 年 6 月 28 日、平成 26 年 9 月 27 日、平成 27 年 2 月 1 日に実施した。
- 若い世代に精神科の素晴らしさ・面白みを知ってもらい、精神科専門医となる人の数を増加させる為、医学部生・初期研修医等を対象とした「第 2 回精神科サマースクール」を平成 26 年 8 月 8 日、8 月 9 日に大阪で、平成 26 年 8 月 15 日、16 日に東京でそれぞれ実施した。
- 平成 26 年 8 月 30 日、平成 26 年 8 月 31 日の両日に「精神科専門医認定試験」および「同（再受験）」を実施し、新たに精神科専門医を認定した。
- 平成 26 年 7 月より専門医を対象に「精神科薬物療法研修」を実施した（e-ラーニング、実地研修）
- 「精神科専門医制度研修施設」の新規認定審査、更新認定審査を行った。
- 「精神科専門医制度指導医」の新規委嘱審査、更新審査を行った。
- 精神科専門医の資格更新審査を行った。
- 精神科専門医資格認定更新にかかる研修（ポイント対象）としての学会、研修会、研究会等の新規認定審査、更新認定審査を行った。
- 日本専門医機構の専門医整備指針に基づき、新たな精神科専門医制度の構築について、整備委員会ならびに常任委員会を中心に検討を行った。
- その他、専門医制度委員会内の各委員会において、各担当事項について検討を行った。

VII. 情報に関する事業

精神医療、精神医学に関する情報は膨大であり、本学会は、その中から精神医療・精神医学に関する提言・意見、または診断や治療に関するガイドラインの策定などを適宜公表することが学術団体としての責務であると考え活動してきた。

■ プレスセミナーの実施

精神医学・医療にまつわる多くのセッションを扱う機会である年次学術総会の 2 週間前に、より多くの方にその内容に興味を持っていただき、また、精神医学・医療への理解を深めていただく目的で、報道関係者を対象に第 2 回プレスセミナーを実施し、80 名を超えるメディア関係者が参加した。

■ 会員専用ページを通じた情報提供

会員専用ページに、自身の会員情報管理や各種の会員向け情報を本年度も多く配信した。

2013 年度に開始した精神科専門医更新のための e ラーニングに今年も 7 本の動画を新規掲載した。

■ メールマガジンでの情報提供

メールアドレスを登録している会員に適時、メールでの情報配信を行なった。

以 上